

空調用水処理剤事業を強化

安定・安全の独自成分 特許取得で拡販に弾み

ダイヤアクアソリューションズ

ダイヤアクアソリューションズは、空調用水処理剤事業を強化する。同社は親会社の三菱ガス化学とさきごろ、特定のイソチアソロン化合物を用いるスライムコントロール剤、および同化合物をスライムコントロール成分とする多機能型水処理剤に関する特許を取得した。冷却水中では従来利用されている塩素化イソチアソリン剤よりも安定した良好な効果が得られるうえ、人体への安全性がより高いといった特徴がある。すでに同化合物を利用した製品を販売しており、特許取得を弾みに一層の普及を図る。また、技術供与も積極的に行う。

技術供与も積極推進

従来、冷却水系ではスライムコントロール剤と同成分は見かけの抗菌力が高いが、原体および塩素化イソチアソリンが多用されてきた。

用時の希薄水溶液は極めて不安定で分解しやすい。そのため、原体では硝酸マグネシウムや塩化マグネシウムなどの無機塩や、エチレングリコールなどの多価アルコールなどが安定剤として配合されていた。また、使用時の希薄水溶液の安定性および性能向上を考慮してプロノポールと称される

プロモントロアルコールが通常配合されてきたが、安定したスライムコントロール効果を発揮するには不十分だった。同社がさきごろ特許を取得したイソチアソロン化合物は、塩素化イソチアソリンから塩素が外れた2-メチル-4-イソチアソリン-3-オン。見かけの抗菌力は塩素化イソチアソリンよりも弱い。また、使用時の希薄水溶液の安定性は極めて安定で、冷却水中では塩素化イソチアソリンよりも安定した良

好な結果が得られる。また、冷却処理水に多用されている大部分のカルボキシ酸ポリマーやアソール化合物などのスケール防止剤、防食剤との配合も良好で、多機能型水処理剤のスライムコントロール成分としても有用で実用性が高い。

変異原性の指標となるエームス試験陰性であり、皮膚刺激性も大幅に緩和されている。

同社はすでにこの特許技術をスライムコントロール剤「コントライムMT」や多機能型水処理剤「コントライムM110」シリーズとして製品化して販売しており、好評を得ている。特許取得を機に今後は技術供与も行っていく。